



プラント事業施工管理本部
図面担当

菅原 和美

2026年2月にさくら株式会社の一員となった菅原和美は、決して目立つ役回りではないものの、地道な作業を通して現場の施工を支えようと、日々真摯に業務に取り組んでいる。社内での唯一の図面担当として、図面を利用する人たちに寄り添う作図を続ける菅原に迫る。

図面担当がいらない会社へ自ら手を挙げて進んだ新たな一歩

建設工事や設備の改修において、現場の作業員が部材の配置や寸法を確認するための指針となるのが図面である。菅原はプラント事業施工管理本部において、社内でただ1人の図面担当として日々CADに向き合っている。

いる。前々職の設備会社で長年

配管やダクトの作図を担当し、会社の事業終了後も派遣社員として1年半にわたり実務に携わり、配管設備の専門知識と確かな実績を積み重ねてきた。さくらを選んだきっかけは、協力会社の担当者とのやり取りだった。社内には自ら図面を描く専任者がいないと耳にし、これまでのキャリアで培った経験を直接活かせる環境だと確信。協力会社を通じて自らオフアワーを掛け、面接を経て入社を果たした。現在は点検歩廊などの鉄骨図や製作図、施工図に加え、角度のついた斜めの線で立体的に表現するアイソメ図の作成のほか、合併した株式会社ユニーの案件など、新しい環境で図面を引き続ける日々だ。

使う人の目線に寄り添う個性を排した図面の追求

作図において最も大切にしていくのは、現場の職人や工場の製作担当者が理解しやすい表現を追求することだ。パソコン上のデータだけで完結させず、既存設備に合わせる際は自ら現場へ赴き測量も行う。工場で部材を作る現場には加工しやすい製作図を、施工中心であれば組み立てに特化した施工図を描く。鉄骨の穴の寸法などを書きすぎで図面が何枚にもなり確認が煩雑にならないよう、適切な情報量を保つ調整も欠かさない。

作図において自身の個性を求めることはなく、あえて個性を出さずルールに基づいた見やすい図面を描くことがこだわりだ。配管の勾配や施工方法に対する現場知識も備えているが、作図を担う自身の職分として

「わかりやすい情報を提供すること」に愚直に徹している。

机上の空論を現実に収めるための対話と柔軟な対応力

「図面は現場で確実に収まって初めて成功と言える」と菅原は語る。想定外の障害物や寸法のズレが生じた際も、四角を三角に変更して干渉を避けるなど、パズルのように改造案を描き起こしてきた。現場で長さを微調整できる配管と、長さの変更がきかない鉄骨など、材料ごとの特性に応じた提案も怠らない。

こうしたイレギュラーを円滑に進めるために欠かせないのが密な「報連相」だ。前々職で培った工場の進捗管理や、資材の運搬計画で関係者とすり合わせを行ってきた経験から、報連相の大切さを実感している。図面を

引くだけでなく対話を重ねること、現場での無理のない施工を支えているのだ。

陰の立役者として日々の図面に向き合う静かな誇り

図面の線や数値に少しでも誤りがあれば部材の作り直しとなり、損失や工期の遅延につながるため、作図には常にやり直しのきかない一発勝負の強い責任とプレッシャーが伴う。表に出る役回りではないが、図面はものづくりを根本で支える陰の立役者だ。だからこそ、複雑なパズルが組み合わさるようにすべてがきれいに収まった景色を見たときの大きな達成感や、仲間からの「お疲れさま」というねぎらいの声が、次なる作図への原動力となる。

「依頼してくれた人に対して、さらにわかりやすい図面を

描くこと」を今後の目標に掲げる菅原。実直な姿勢で図面に向き合い、これからもさくらのものづくりを元から力強く支えていく。

図面を通して使う人に寄り添い、確かな情報を提供しようと実直な姿勢で取り組む菅原は、さくらのものづくりをこれからも足元から支えていく。

企業情報

設立年：2012年4月

年商（さくら株式会社）：12.8億円

年商（さくらグループ全体）：17.2億円

※ 2025年3月決算時点

菅原さんってこんな人！

周囲から「本当にプロ意識が高い人」という声がかかる菅原さんは、豊富な知識と妥協のない仕事ぶりで信頼を集める存在です。共に働く仲間の視点から、その魅力的な人柄に迫ります。



プラント事業施工
管理本部
おおみや こ
大宮 もも子さん

菅原さんとの関係性

おそらく同僚

同じ課にしながら、私は安全書類作成を行い、菅原さんは図面を書いているため、業務内容ではまだ全然関わりがないように思います(笑)ただ、前の職場で安全書類を作成する仕事もされていたようで、助言をいただいたことがありました。

菅原さんを一言で表すと

頼れる先輩

安全書類について相談をさせていただいたほかにも、材料のことや図面の見方を教えていただいたことがあります。私自身はまだまだ知らないことが多いため、さまざまなことを知っている菅原さんは本当にすごい方だなと思っています。

印象的なエピソード

私は何かあるとすぐに落ち込む人間で、悩んでいるとき、菅原さんに話を聞いていただき、相談に乗っていただきました。アドバイスのほか、「こういうところすごいと思うよ」とポジティブになれる言葉もいただき、気持ちを切り替えて仕事に臨むことができました。

菅原さんへのメッセージ

いつもくだらない話や相談を聞いていただき、ありがとうございます！私はまだまだ知らないことがいっぱいあり、今後も勝手に頼らせていただき、学ばせていただきます！これからも一緒に頑張りましょう！

菅原さんとの関係性

4か月前に入社して 同じ部署に配属された部下

プラント事業施工管理本部に初の設計士として配属された方です。前職での経験を活かして、現場での採寸やお客様との打ち合わせ、設計図面の作成業務をお願いしています。

菅原さんを一言で表すと

信念の強い設計の プロフェッショナル

正確さを求められる設計業務をこなしてもらっており、普段の仕事ぶりから、責任を持って最後までやり遂げる力のある人だと思っています。図面のちょっとしたズレも見逃さず、正確性に妥協のないところにプロ意識を感じます。

印象的なエピソード

入社後、初めての製作品の現場で一緒に仕事をしましたが、自分が納得できるまで現場に何度も足を運び、元請けさんと打ち合わせを重ねていました。そういった姿を見て、「この人は、本当にプロ意識が高い人だなあ」と、感心させられました。

菅原さんへのメッセージ

当社初の「設計のプロ」として、今後活躍されることを期待しています。前職での経験や培ったスキルは素晴らしいと思います。現場を担当している職長さん方と早く仲良くなって、皆から頼られる存在になってほしいです。



プラント事業施工
管理本部
統括副本部長
はやし しょうた
林 正太さん

私の趣味紹介

皆さんは休日にどのような自分時間を過ごしていますか？今回は、日々の暮らしやプライベートを豊かに彩る、社員お二人の趣味についてお話を伺いました。意外な一面や、明日からの毎日のヒントが見つかるかも？



総務部
やち みさと
谷地 美智さん

私の趣味は……旅行

子どもが生まれる前はGWや三連休の際は必ず行っていました。夫も私も日本酒好きで、日本酒が美味しいところを探して泊まっていました。

始めたきっかけ

日本酒と水族館を楽しむ旅から自宅での晩酌へ

私は旅行好きでもあり、それに付き合ってもらってました。日本酒メインで行き先を探すようになったのは、6年ほど前からだと思います。福島県で飲んだお酒が美味しくて、その後「この日本酒を買いたい、飲みたい」と旅先を探すようになりました。また、水族館も好きで、メインの日本酒のついでに行くことが恒例となっています。子どもが生まれてからはなかなか以前のように行けないため、自宅での晩酌を楽しんでいます。

旅の魅力

美味しいものを食べて、飲んで、ゆっくりお風呂に入るといふ非日常を味わえるところです。誰かの作った食事をいただいて、何もしなくても考えなくても良いところが大事です(笑)

思い出のエピソード

海の絶景と美食を満喫した 新婚旅行の宿

一番印象に残っているのは、新婚旅行で利用した石川県のホテルです。コロナ禍だったため、自家用車で行ける近い場所に決めました。窓を開けると、すぐに目の前の海が見えて非日常を味わうことができました。泳いでいる魚が見えるくらい近く、透き通っていてびっくりしたのを覚えています。食事もお酒も美味しく、もう一度泊まりたいホテルでした。



総務
いしかわ ま ゆみ
石川 真弓さん

私の趣味は……ガーデニング

(寄せ植えなど)

玄関から各部屋にある観葉植物に、毎朝お水をあげたり、様子を見て栄養剤をあげたりしています。土日の休みにも、手入れをする日々です。

始めたきっかけ

市営団地から一軒家を持ち、玄関に大きなモンステラを1つ置いたことです。それから1つ、2つと増えるごとになんだか楽しくなってきた、あれもこれもと各部屋に飾るようになりました。

ガーデニングの魅力

お部屋に植物があると、なんとなく空気感が違うような気がします。蕾を見つけると「いつ花が咲くかな？あっ、少しずつ開いてきた！葉っぱも出てきた！」と、見ているだけで結構楽しいものです。

思い出のエピソード

たまたま見た記事で、風水的に玄関に置くと良いもの、金運に良いもの、リビングや寝室に置くと良いものがドンピシャで合っていたときには、「すごい」と嬉しくなりました。

